



2026年1月1日 第297号

〒330-0853 埼玉県さいたま市大宮区錦町427
電話 048-643-6655 FAX 048-631-1441
JRTEL 054-5844-5 JR FAX 054-5846
email: omiva-chihon@ireu-omiva.jp
発行人 川澄 新一 編集人 小宮 裕幸



JR東労組大宮地本の
ホームページは
←こちらからアクセス

東日本旅客鉄道労働組合 大宮地方本部

あらゆるハラスメント・不当労働行為を許さない!!

職場からのたたかいて経営姿勢に立ち向かい、26春闘勝利!! 安心して働き、組合加入ができる健全な会社を実現しよう!!

新年のごあいさつ

川澄執行委員長

明けまして、おめでとうございます。
昨年は職場から、組合員や未加入者と共に多くのたたかいを創り出していただき、ありがとうございます。今年も大変な一年になりますが、仲間と共に進んでいきますよう。

昨年の漢字は『熊』でした。マスコミでは連日、熊の出没情報が報道されていて、過去最大の被害が出ていて、問題は深刻化しています。原因として、温暖化や人間活動の影響で生態系が変化し、熊が冬眠をしなくなっているとも言われています。熊は冬になると冬眠するのが「当たり前」でしたが、それが「当たり前」ではなくなっています。では、これは「当たり前」を越えたのでしょうか？その結果として人的被害も拡大し、日常生活にも影響が出ているのを見れば「当たり前を越えた」のではなく、「当たり前が壊れた(壊された)」のであり、その結果多くの問題が発生していると言えます。

いまJR東日本では『勇翔2034』の下、「当たり前を越える」として、これまでの「当たり前」を大きく変化させています。その中で私たちは「当たり前を越える」として、「当たり前を壊す」という違いを明確にしていかなければなりません。当たり前が壊れれば、多くの問題が発生してしまいます。私たちは150年を超える鉄道の歴史の中で、多くの犠牲の上に築き上げられた「安全文化」を壊すことなく、安心して働ける職場を確立していくために、声を上げ続けていかなければなりません。

いま、ものすごいスピードで働き方や労働環境が変化しています。しかし、経営幹部の考えと職場の意識には大きな乖離が生じているといえます。『勇翔2034』では10年20年先を提起しますが、職場では今日明日の仕事もままならない状態で、翌月の勤務作成すらどうなるかわからない、要員不足で余裕のない状態です。このような状況では、どんなに素晴らしい施策が出されても上手くいくはずはありません。これまでは、この経営陣と職場の問題点を解決し、スピードの違いを繋ぐ歯車をJR東労組が担っていました。しかし2018年以降の組織減少で、その機能が弱くなってしまった結果が今です。あらためて、JR東労組の必要性を明確にして組織拡大に向けて奮闘していきますよう。

また昨年は、会社からのパワハラで休職し医療保護入院にまで追い込まれた仲間の職場復帰を勝ち取ることができました。本人が一番頑張りましたが、それを支える多くの仲間がJR東労組にはいたという事です。休職中も毎月多くの仲間が会いに行き、お互いに激励しあいました。そして、通勤訓練等にも寄り添い共に職場復帰を実現してきました。これがJR東労組の仲間であり、これまで築き上げてきた組織だということです。「みんなは一人のために、一人はみんなのために」と言葉で言うのは簡単ですが、それを実行するのは本当に大変なことです。それを現してきた宇都宮の仲間を中心としたたたかいは、まさにJR東労組運動の原点を感じていきました。これからの運動についていきたいと思います。

一方で会社は、ここまで追い込んだ日勤教育を「問題ない」としています。私たちはこのような経営体質、とりわけ上意下達のみノ言えぬ職場支配に抗してたたかいます。それが、不当労働行為に対する第三者機関を活用したたたかいです。不当労働行為を受けた組合員の勇気を持った発言によって、このたたかいが実現しました。しかし会社は、その声に真剣に向き合うことなく「お上の言う事は絶対」というような姿勢を貫こうとしています。この現状を全組合員と一致し、「ここまでやられたい黙っていられない」「断固たたくべき」という多くの声に支えられて「埼玉県労働委員会への申立」と「さいたま地裁への提訴」を行ってきました。事前のビラ配布や傍聴集会等に多くの組合員が結集して、たたかいは内外に拡大してきています。組織拡大の実現に向けて、たたかいを創りだしていきます。

世界を見れば、戦争はいまも続いています。そして高市総理誕生以降、アジアでの関係悪化が懸念されています。戦後80年を経て戦争を知らない世代が多くを占める中で、戦争をゲームのように感じている若者が増えてきています。これがため我々がこれまで学んできた平和研修から戦争反対の声を上げていかなければなりません。日本や世界の情勢が大きく変わろうとしているいまこそ、私たちが広い視野をもってたたかいを創りだしていかなければなりません。

大宮地本は結成26年目を迎えました。「抵抗とヒューマンリズム」を根底に、もう一度、職場や地域からJR東労組運動を創り出す一年にするため、共に奮闘しましょう！今年もよろしくお願ひします。

始	論
論	点

「交の是正を求めて第三者機関を活用したたたかいへと踏み出し、新たなたたかいの意義と重要性を改めて全参加者で確認してきました。」

大宮地本は、12月1日 私たちの埼玉県労働委4日に全支部・全分会代表委員会への救済申立と埼玉地裁へ損害賠償請求が当事者のたかひの総括と26者だけの問題ではなく組織への意思統一を図って織に掛けられた攻撃でありました。

全組合員が参加できるれば明らかであり、連日各定期大会の開催に向けて機関から届けられ地本を創意工夫した構想や数ヶ埋め尽くしている全国から月前からの論議の積み重ね寄せられた檄FAX・檄ねを経て、多くの組合員の布・檄紙に裏打ちされる結果をかちとってきた成「JR総連の総団結」で、労果や、私たちの働き方と働者に対する悪辣な企業職場を大きく変える会社体質にメスを入れるために施策が矢継ぎ早に提案さも裁判闘争勝利を実現しれる中で、対話行動やアンなければいけません。片方ケートを活用しながら組の当事者からの言葉のみで合員だけでなく未加入者事実認定を行い、不当労働も交えた職場運動での苦行をダメだと理解して闘や教訓点を全体で共有する人は不当労働行為を行化してききました。また、会わないので話を聞くことも社によるパワハラによってしないという、「世間の当休職を余儀なくされた仲り前」が理解できていない間の職場復帰を全体で確会社に「当たり前を超え認め、どれだけ議論してることなど出来るわけがも一向に止まない不当労働ありません。全組合員との働行為を許さず、問題の対話と実践の強化、連帯す解決に向かう姿勢とは到る全ての仲間との広範なた底考えられない不誠実団 たかひを通じて私たちが真

働きやすい職場を創りだし、新たな仲間の拡大と再加入を通じた一万人組織の再確立を目指そう！
連合の2026春闘における賃上げ要求方針はベアと定期昇給を合わせて全体で5%以上であり、私たちの生活を直撃している止まらない物価高を考えれば、昨年以上の妥結額を

**『26JR 総連春闘勝利！』
『あらゆるハラスメント・
不当労働行為を許さない！』
「抵抗とヒューマンイズム」の
精神で組織強化・拡大のたたかいを
全組合員で創り出そう！**

私たちは勝ち取らなくてはなりません。JR総連春闘スローガンで掲げられている、「全組合員の団結力」と「産別間の連帯・共闘」を軸に、統一要求・統一闘争貫徹を通じて26春闘勝利を実現していくたたかいを多くの労働者の結集によって職場・地域から創り

だしていくことがJR東労組の課題です。大宮地本として春闘メッセージ総対話行動を展開し、職場闘争の強化で春闘の灯を守り抜こう！

昨年12月、さいたま市の清水市長は「未来につながる事業を数多く実施したことを選考理由として、『光』を2025年を象徴する漢字」として発表しました。私たちの職場環境や労働条件を大きく変える会社施策が矢継ぎ早に提案され、地震や豪雨による自然災害は年々拡大し、明日を生きることすら不安を抱えざるを得ない状況に多くの組合員が直面しているこの現実に対して、一人ひとりが向き合い、どのような職場・社会を創りあげていくのか。「希望」を持ち、行動することでは私たちがの未来を切り拓くことは出来ません。誰も経験したことのないピンチを最大のチャンスと捉え、一万人組織の実現に向けて、今こそ「抵抗とヒューマンイズム」を堂々と掲げ、新生JR東労組運動を全組合員で実践しよう！

「希望」を持ち、行動することでは私たちがの未来を切り拓くことは出来ません。誰も経験したことのないピンチを最大のチャンスと捉え、一万人組織の実現に向けて、今こそ「抵抗とヒューマンイズム」を堂々と掲げ、新生JR東労組運動を全組合員で実践しよう！

大宮地本第26回定期委員会

日にち 2026年2月15日

時間 12:30~16:45

場所 さいたま市文化センター
多目的ホール

定期委員会で職場からのたたかひの成果と課題を明確にして、今後のたたかひを創り出そう！



26春闘勝利のために結集しよう！

春闘総決起集会 (仮称)

2026年

2月27日(金)

18:30~

場所:レイボックホール
小ホール
大宮駅東口徒歩3分



全支部・全分会代表者会議で秋のたたかいの成果を確認し、 2026春のたたかいの勝利に向けて、全職場からたたかう事を意思統一!!



2025年12月14日 レイボックホール

26JR総連春闘勝利と不当労働行為撲滅に向けて全職場からたたかおう!!

～2026春のたたかい～ 【期間:2026年1～4】

◆2026JR総連春闘について

【勝ち取るべき課題】

①賃金引き上げのたたかい

- ・連合方針は賃上げ3%以上、定昇含め5%以上(昨年同様)。
- ・具体的には本部定期中央委員会で決定する。

②夏季手当のたたかい

- ・基準内賃金に変更される問題意識を高め、昨年以上の支給月数と支給額を勝ち取る。

③組織強化・拡大を勝ち取るたたかい

- ・問題意識を高め、東労組に結集するたたかいを創り出す。
- ・不当労働行為を許さないたたかいと同時に展開し、労働者意識を高める。

□具体的なたたかいについて

【定期中央委員会までのたたかい】

- ・職場討議資料を活用した総対話・座談会を開催し、メッセージ行動を行う。創意工夫したたたかいを展開し、職場の声を要求に高める。

【妥結までのたたかい】

- ・2.27大宮地本春闘総決起集会(仮称)に最大限の結集を図る。
- ・各支部・分会で報告集会を開催し、常駐体制を確立。

◆組織的課題

1. 組織強化・拡大について

①旗開きの開催について

- ・各支部・各分会で旗開きを開催し、不当労働行為を許さないたたかいと2026春闘のスタートを切る、創意工夫した旗開きを創り出す。

②地本旗開きの開催について

- ・日時:2026年1月10日(土)14:30～、場所:さいたま市文化センター 多目的ホール

③再加入と新規拡大を目指す ④過半数労働者代表PJ会議を開催

2. あらゆる不当労働行為・ハラスメント行為を許さないたたかい

- ①埼玉県労働委員会救済申立・さいたま地裁損害賠償請求裁判について報告集会、ピラ配布行動、連帯を広げるたたかいを創り出す。

- ②「武蔵小金井駅暴行事件」の真実を明らかにし、支援・連帯のたたかいを創り出す。

◆業務的課題

1. 各種施策の取り組みについて

- ①「新たな組織と働き方について」の地方議論を創り出す。

- ②要員不足等、職場の労働実態を把握し、無理な効率化には是正を求める。

- ③各系統の施策に対し、組合案実現のため職場討議・団体交渉を行う。

- ④各種施策・交渉議事録を組合員と共に議論し、検証運動を創り出す。

新年のあいさつ

美世志会代表 山田 知

「えん罪・JR浦和電車区事件」による弾圧で私たち美世志会7名が逮捕されて以来、24回目の新年を迎えました。暖房のない東京拘留所の独居房で、仲間が差し入れてくれた防寒着を着て過ごした、2003年の新年を忘れることはできません。

私たちが逮捕された当日、会社側の対応は冷静でした。仲間の多くが「会社は弾圧を事前に知っていたのでは?」との思いを抱きました。そして、会社は無実の社員である私たちの、労働者としての生きる術を奪う「懲戒解雇」を発令しました。

現在、大宮地本の仲間たちは、会社による不当労働行為、パワハラ、差別とたたかっています。職場で現れている会社の冷酷な現実には、「えん罪・JR浦和電車区事件」当時の会社の現実と何ら変わるものではありません。

労働者の権利を侵害し、乗客と社員の命を脅かす会社に抗し、組織強化・拡大を実現するために、大宮の仲間たちは法廷での、労働委員会でのたたかいに立ちあがりました。法廷でのたたかいを経験した者として、冷酷な会社に抗して法廷に立つ想いは私たちに痛いほど分かりま

新年のあいさつ

青年部長 本田 隼

昨年の大宮地本青年部は全員が初めての役割を担い、スタートしました。各職場の青年部員一人ひとりが「自分にとっての東労組や青年部」を確立していくことで組織強化・拡大の実践へと繋がりますが、その中心となる地本青年部の強化を最重要課題に据えました。

私たち青年部員は今後30年以上この会社で働き続けます。「勇翔2034」や人事・賃金制度、組織再編等の施策のみならず、職場で現れる経営姿勢の影響を最も受けるのは私たちです。会社は利潤の追求ばかりで社員を駒のように扱っていると感じます。このような状況に対して、今こそ青年部運動を通じて本音を語り合い、労働者としての感性を磨く事が重要です。

昨年は本部青年連絡協議会主催の取り組みに目的を持って参加しました。今年は昨年の課題を踏まえ、地本青年部主催のレクや意見交換会の開催を目指し、青年部らしく「よく遊び、よく学び、よくたたかう」事を意識し実践します。

東労組一万人組織の実現や本部青年部再建を目標に仲間と共に実践する決意を申し述べ、新年のあいさつと致します。



問題：以下の各問題の□に入る数字を入れて、文章を完成させて下さい。

《問題》

JR 東労組大宮地本は

結成□□年目を迎えました。

これからも「抵抗とヒューマニズム」を根底に、JR 東労組運動を創り出していこう！

★ヒント★

1面の川澄執行委員長の新年のごあいさつ文中にある？
記事を熟読し、答えを探そう！

**新年お年玉クイズ
プレゼント応募券**

分会名 _____

組合員名 _____

応募者名 _____

続 柄 _____

答え

JR東労組大宮地本は結成
□□年目を迎えました

豪華 お年玉クイズプレゼント 商品一覧

- ホテル聚楽ペア宿泊券 1組
- 豪華カタログギフト 3名
- 鉄道ファミリー特選ギフトセット 3名
(鉄道ファミリー提供)
- 特選こだわり品セット 4名
- Amazonギフト券 5名
- すみっこ商店紬うどんセット 10名
- すみっこ商店人気商品セット 5名

答えがわかった方はプレゼント応募券に必要事項を記入し、2月6日(金)までに大宮地本までご持参またはご郵送下さい。
郵送の場合は応募券をハガキに貼付け、ご住所・電話番号をご記入下さい。

郵送先: 〒330-0853
埼玉県さいたま市大宮区錦町427
応募対象者: 組合員・OB組合員・家族(同居の場合のみ)
※1人1枚までの応募とさせていただきます
※コピーでの応募も可能です
プレゼントの抽選は2月10日に行い、当選

迎春

鉄道ファミリーは組合と共に歩み皆様をしっかりとサポートします

- ▶ がん保険・医療保険・介護保険
- ▶ 自動車保険・サークル保険
- ▶ JR積立年金・組合旗・組合バッヂ
- ▶ すみっこ商店

今年もよろしくお祈りします



JR総連・各単組賛助団体
(株)鉄道ファミリー

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13
電話 JR 058-4114・5 NTT 03-3490-3862